

アートカウンシルと  
中間支援組織

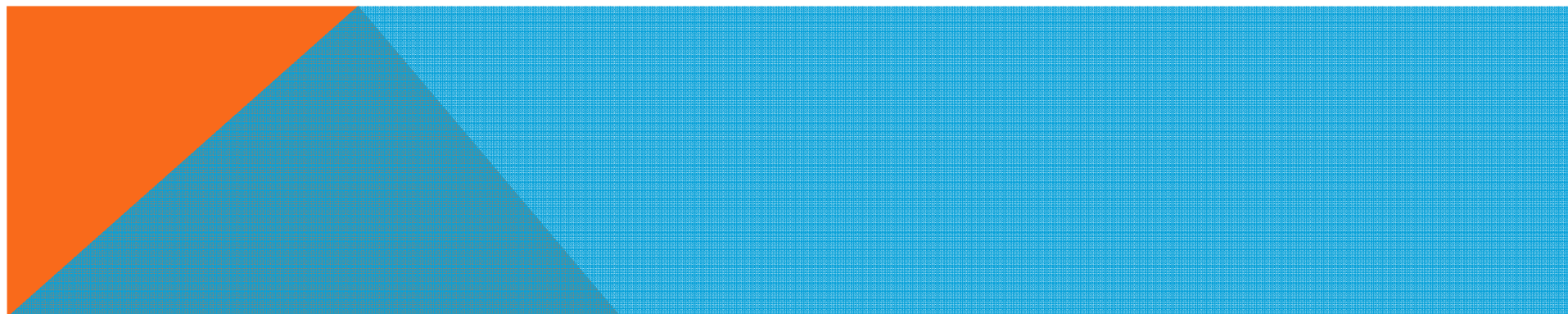
2015. 2. 2

創造都市推進会議

(一社)浜松創造都市協議会代表理事  
桧森隆一

# 1. アーツカウンシルの発祥と経緯

1. 1946年イギリスで発足、日本語訳は「**芸術評議会**」
2. 定義は「芸術文化に対する助成を基軸に、政府と一定の距離を保ちながら、文化政策の執行を担う専門機関」(by吉本氏)
3. 発足の経緯＝芸術を政治的に利用したナチスドイツへの反省から「**アームズ・レンクスの法則** (政府は金を出すが口を出さない)」を提唱
4. 初代会長 ジョン・メイナード・ケインズ
5. 外部の専門家の審査委員ではなく、**芸術(ジャンルごと)の専門職員**を置き、審査する  
審査、実施にあたっての助言、評価まで一連のサイクルを回す
6. 助成(公募、重点支援)の他、幅広い活動を展開
7. 芸術文化振興が目的のため、**助成の対象はプロの活動**(市民の文化活動ではない)
8. イギリスにおけるその後の変化(3地方への分割、重点支援の政府政策<社会的包摂>などへの従属＝アーツカウンシルから分離)

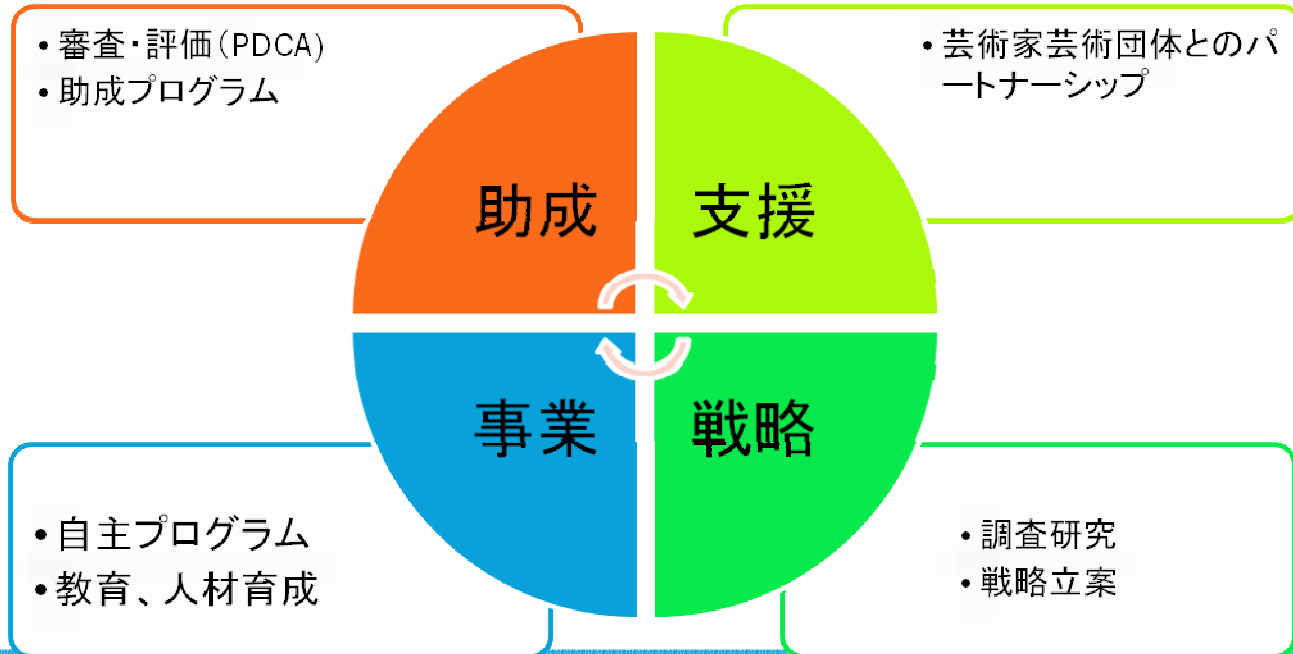


## 2. アーツカウンシルのコンセプト

1. 行政から独立した常設機関
2. 各分野の専門人材の雇用(プログラムオフィサー、リレーションシップマネージャーなど)
3. 対象はプロの芸術家(その卵)、芸術団体(市民に対しては鑑賞機会の提供)

### 3. 4つの業務

アーツカウンシルの目的は芸術文化振興だが、なぜ芸術文化を振興するのかは設置者によって異なる。



# 3. 日本版アーツカウンシル

## 1. 独立行政法人日本芸術文化振会のアーツカウンシル化

## 2. 従来の課題

- ・1年ごとの審査委員会方式で事後評価ができない
- ・審査委員会が助成対象団体に対して十分な情報を持っていない
- ・審査委員の専門性への疑問
- ・助成で期待する成果・目標が不明瞭
- ・赤字補てんや制作人件費など助成の考え方の問題

## 3. アーツカウンシル化による対策

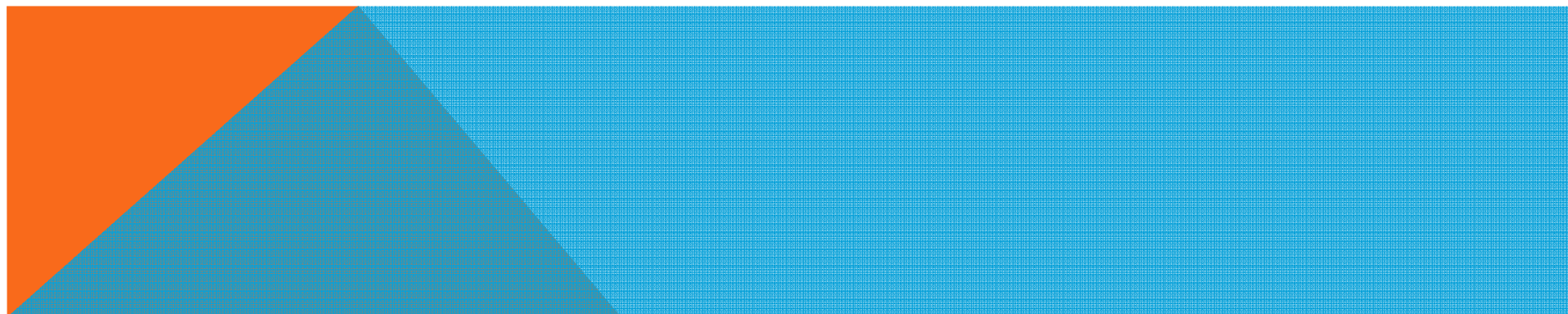
- ・審査委員会の下にプログラムオフィサー、プログラムディレクターを設置
- ・助成の考え方の一部改善

## 4. 残された課題

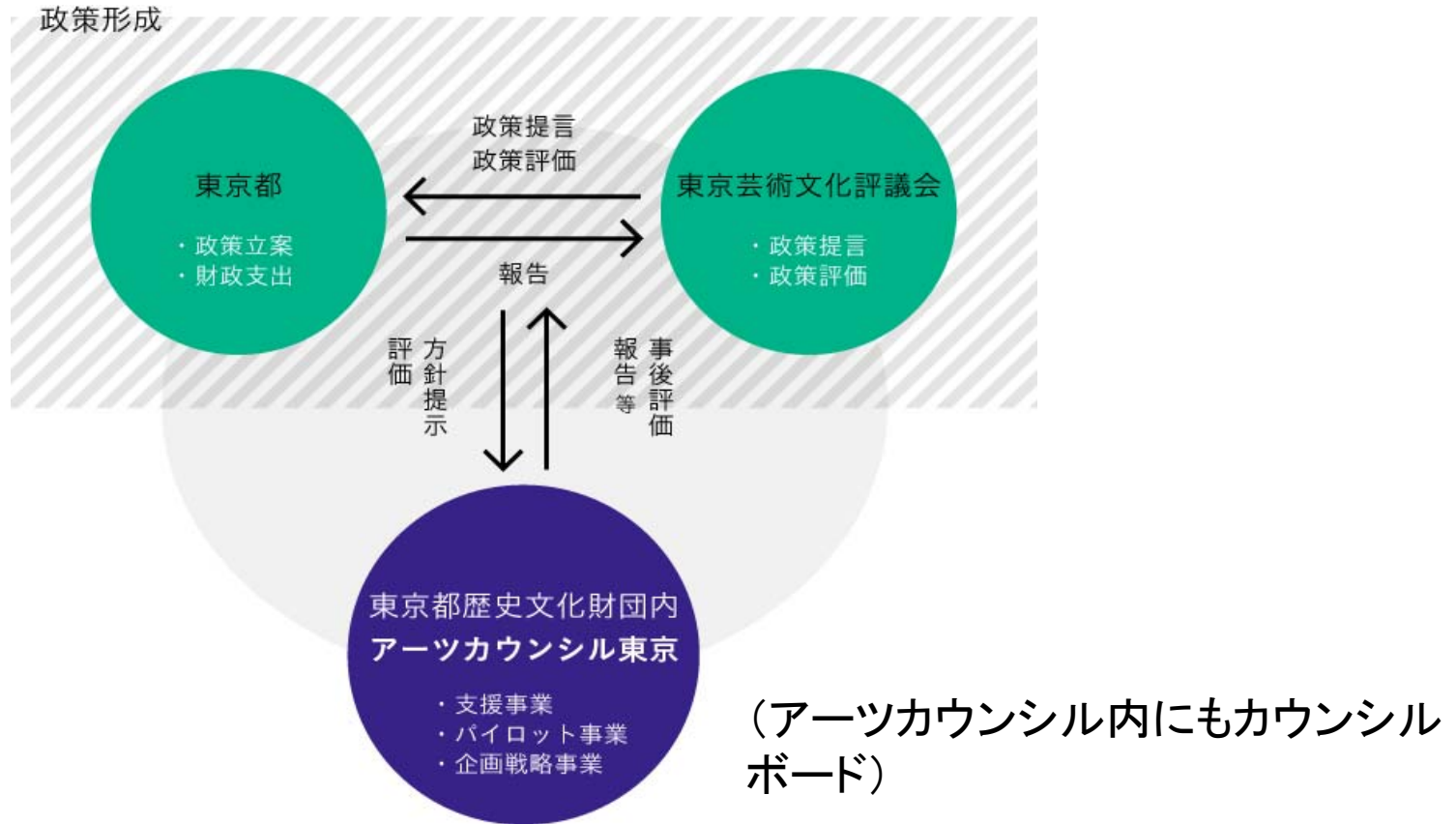
- ・本来助成対象となるはずの国立劇場など施設の運営が同居
- ・助成以外の自主事業がない
- ・戦略的助成プログラムがない(1990年以降助成の枠組みが変わっていない)
- ・プログラムオフィサー、プログラムディレクターが十分機能していない(週一パートタイム)

## 4. 地方の事例①アーツカウンシル東京

1. 組織体制……次ページ
2. 目的……「東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上」  
※市民文化の向上ではない点に留意
3. 助成対象……東京の芸術文化の魅力を世界に発信する創造活動を支援するため、**発信力のある活動を行う団体**を支援
4. その他事業……パイロット事業（人材育成、クリエイティブ分野支援など）  
企画戦略事業（調査研究、国際交流など）
5. 専門職員……機構長、プログラムディレクター、プログラムオフィサー5名
6. 助成実績……申請146件、採択61件（平成26年度1期）

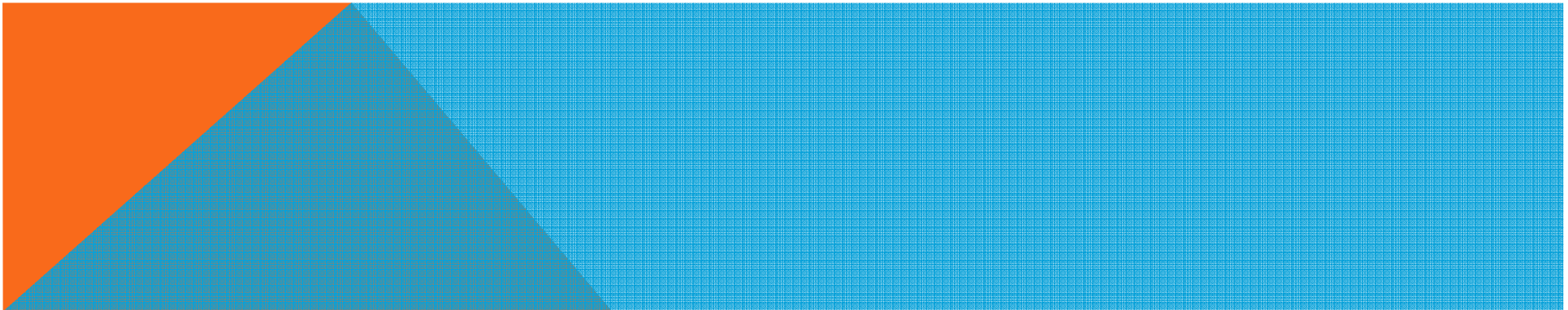


# アーツカウンシル東京の組織

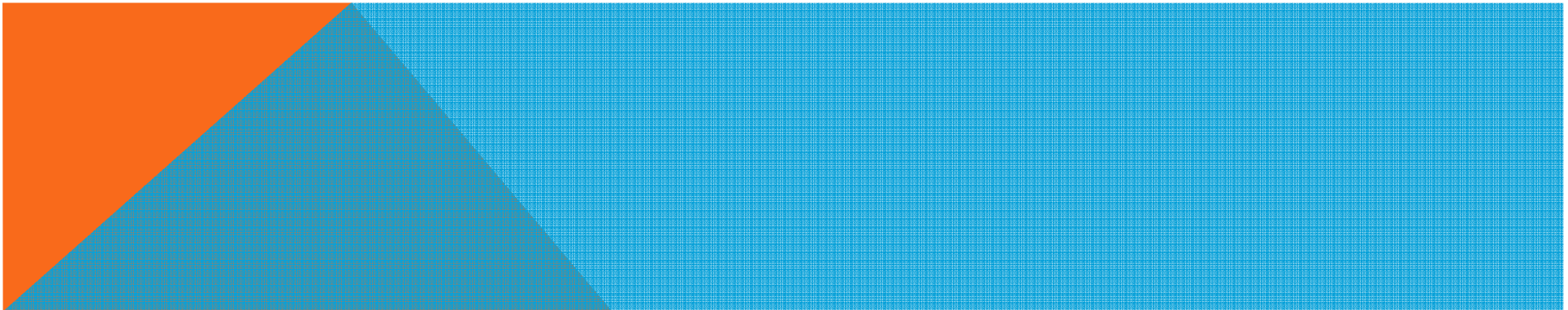
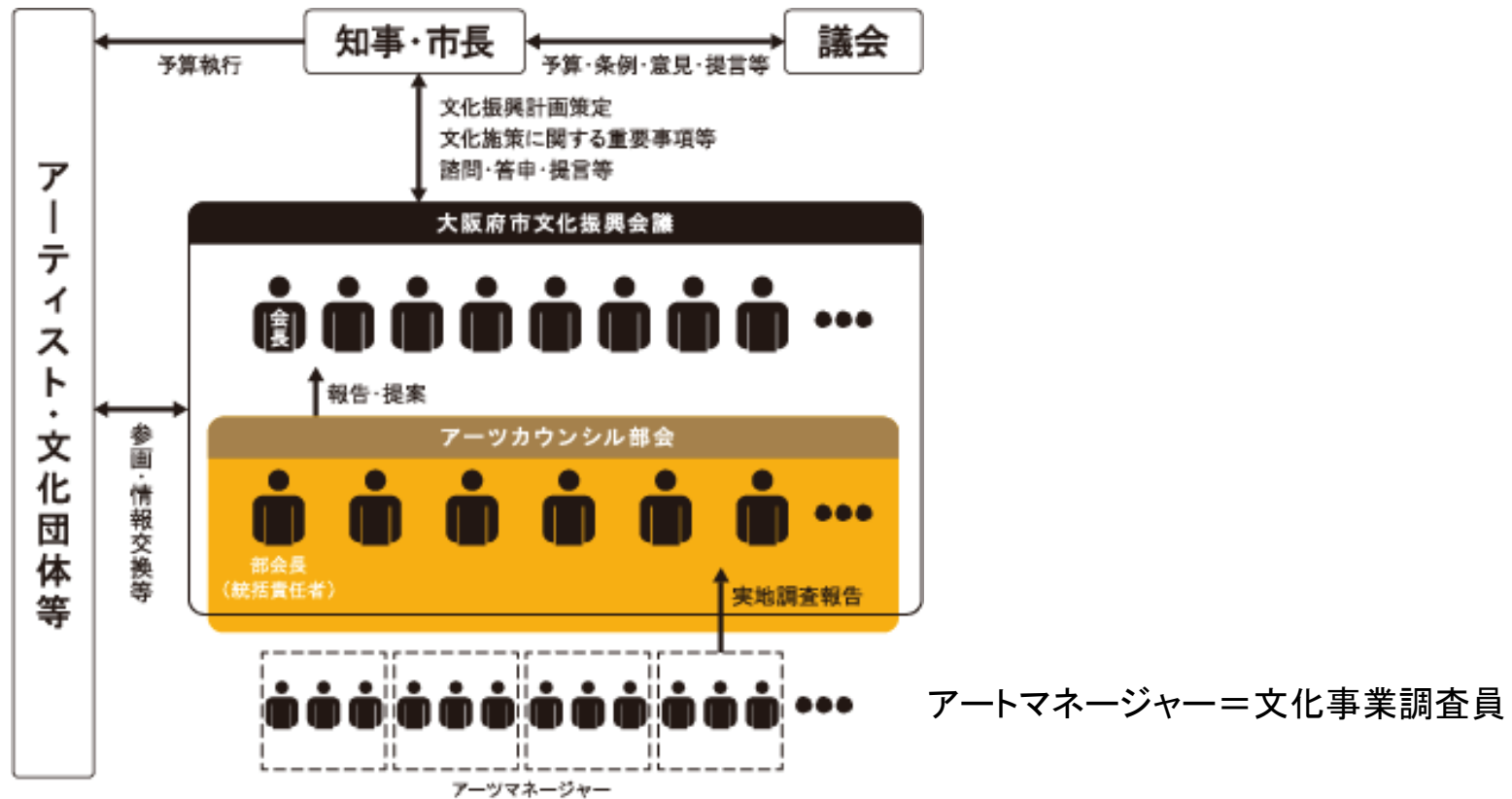


## 5. 地方の事例②大阪アーツカウンシル

1. 組織体制……別紙
2. 目的……都市の魅力の創造、都市格の向上
3. 助成対象……府市の文化課が担当する文化事業の評価と改善提案  
府市の公募型助成金の審査  
「市民等への鑑賞機会の提供を目的として芸術活動を行うもの」
4. その他の事業・企画調査、自主事業としてフェスティバル検討中
5. 専門職員……部会長＝統括責任者(臨時職員)
6. 課題……常勤のプログラムディレクター、プログラムオフィサーの雇用無し



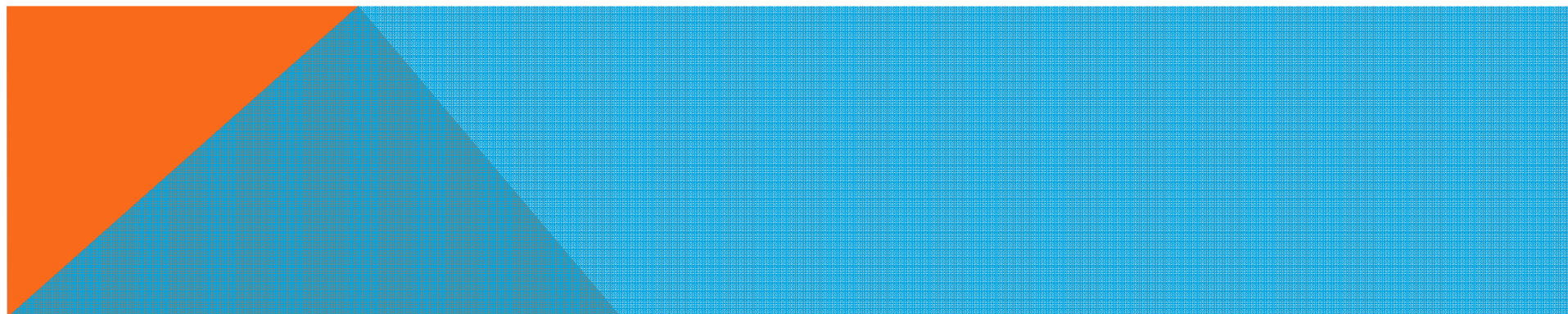
# 大阪アーツカウンシルの組織





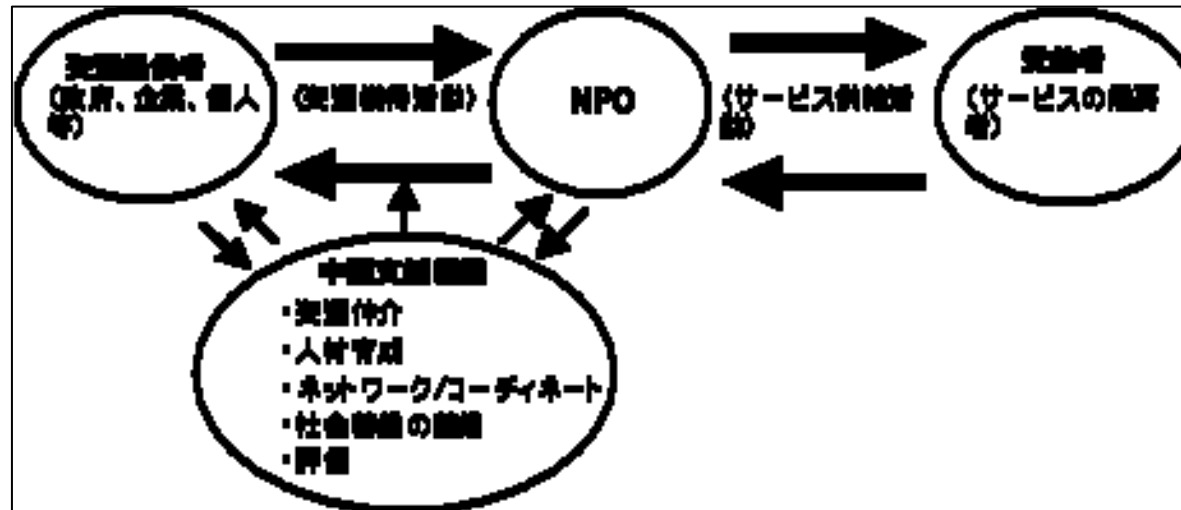
## 6. 地方の事例③沖繩版アーツカウンシル

1. 組織体制……………(公財)沖繩県文化振興会の機能として
2. 目的……………文化産業の創出(文化の産業化)
3. 助成対象……………沖繩文化活性化・創造発信支援事業、文化活動支援事業など
4. その他の事業…公文書館の運営、沖繩伝統芸能公演など
5. 専門職員……………プログラムディレクター、プログラムオフィサー4人  
(別途アドバイザリーボードあり)



## 7. 中間支援組織とは

1. 一般的には、NPOのマネジメントに対する支援（民間企業におけるコンサルタントの役割）
2. NPOに対する特殊な機能としては資源提供者とNPOを結ぶコーディネート、ネットワーク



内閣府ホームページより

## 8. 浜松市の検討課題

1. 浜松にアーツカウンシルを作るとしたらその組織体制は？
  - ・行政からの独立度(アームズレングスの原則)？
2. 浜松にアーツカウンシルを作るとしたらその目的は？
  - ・創造都市としての発展＝芸術文化産業の創出？都市の魅力向上？
3. 助成対象
  - ・プロまたはプロを目指すアーティスト、クリエイター、芸術団体？
  - ・アマチュアの場合もあくまでも市民への鑑賞機会の提供を目的とする活動？
  - ・既存の組織も対象？
4. その他の事業
  - ・例えばアートマネジメント人材育成、教育普及事業、フェスティバルなど
5. 専門職員
  - ・プログラムディレクター、プログラムオフィサーの雇用
6. 予算規模

